

KSKR No. 48
発行2002年9月

パンジーだより

クリエイティブハウス
「パンジー」



田中君と話す、栗岡さん

2002年5月27日逝去 享年33歳

永い眠りについたあなたへ

栗岡和美様

あなたの葬儀の日、祭壇の写真を見ながらあなたと話したいろんなことを思い出していました。

パンジーでは、あなたはパン部門の中心メンバー。私は週1日行くだけで、それもほとんどクリエイティブの部屋に居るから、あなたとの接点は少なかったはずなのに、よく話をしたという印象を持っています。回数や言葉数ということではなく、心に深く残っているのはあなたの言葉の重さにちがいません。

前回のパンジーだよりで、私は仕事中にブラブラしたり、眠ったりするのは、わがまま、甘え、怠け (will not) なのか、体調や能力、特性 (can not) によるのかを見分けることはむづかしいと書きました。その時、もう就職してがんばっているあなたのことを考えていました。

あなたはあなたなりの判断で両者を明確に区別していました。前者には手厳しく、そして後者にはとっても寛容でよくサポートしていましたね。あなたが許せないと言ったのは、できるのにやる気のないメンバーだけでなく、それを黙認している職員でした。あなたの訴えはいつも筋が通っていました。持って行き場のないあなたの気持ちを、私はしっかり聞くだけでした。

そんなあなたが揺れはじめているのに気づいたのは一年ほど前でした。パンジーⅡが開所して2週間に1度しか会わなくなった私には、あなたは他のメンバーの特性を受け

入れるしんどさを訴えました。職員は自分のことを過大評価しすぎるとも。本当はそこまでできないのに、気力や意欲の問題と見られることのつらさをあなたは自分のこととして話しました。明確だった（will not）と（can not）の枠組みが揺らぎはじめたあなた、自分の弱さを語るあなた、大きな一歩を踏み出す前の不安な時期でしたが、貴重な経験でした。

多くの人の支えでそれを乗り越えたあなたが、あこがれの「ピンクのユニフォーム」を着て働き始めたところだったのに・・・。

もう一度あなたと話がしたい。特に休むこと、眠ることを書いている今、あなたの意見を聞きたい。世の中そんな甘いもんじゃないよと言われそうな気がします。

栗岡和美さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

中新井滯子



栗岡和美さんへ 追悼文

栗岡さんが就職していた「アーバンケア島之内」の方々から温かい追悼文が届きました。

仕事に来るのが「楽しい」と言っていたのを思い出します。制服を貰ったときはとても喜んでいました。制服を着て頑張っている姿がもう見れないのはとても残念です。

寺嶋美穂子



あなたと初めて出会った平成13年10月23日。緊張した面もちでアーバンケア島之内の門をくぐってはや半年が過ぎ、「やっとこれから」と言う時に突然風のように去っていったね！ 自分の主張をしっかりと、屈託のない笑顔で僕にも皆にも接してくれた事が今でも走馬燈のように思い起こされます。

僕等に何かを伝え去っていった彼女。その何かを探し求めて僕等は貴方の分まで力強く生きていくよ！ 約束。そして、ずっとずっと貴方のことは忘れません。

松山修一郎

栗岡和美さんへ 追悼文

栗岡さんと出会って7ヶ月。こんなに早くお別れする時が来るなんて思ってもみませんでした。エプロンを必死で運んでくれる姿、オムツをたたみながらお年寄りの方々と笑顔で話をしている姿、思い出すのは楽しく笑っている姿ばかりです。工作中、ふとカウンターを見ると笑っている栗岡さんがいてるような気がする時があります。これから私の心の中で一緒に仕事を頑張っていきたいと思います。ありがとうございます。お疲れさまでした。

佐々木裕美

就労支援の現場から

栗岡さんが教えてくれたこと

あまりにも突然逝ってしまった栗岡さん。その深い喪失感と悲しみから立ち直り何かを書くには、もっともっと長い時間と心の整理が必要ですが、〈栗岡さんが教えてくれた〉と感じているものだけはみなさんにお伝えしたいと思います。

私は職場訪問する度に、栗岡さんがミスをしなかったか、周りの職員の方や老人ホームの利用者の方とうまくやっているか、それがいつも気がかりでした。実は、私に対しても

言い訳したり、意固地になったりして、イライラさせられることが度々ありました。私はそういう彼女をサポートし、彼女の職場生活を「把握」しているつもりでした。しかし、お通夜や告別式に来て頂いた職場の皆さんとのお話から、それが間違いだと気づかされました。私が知らないところで、栗岡さんはたくさんの方と関係を築いていたのでした。「なにがあっても絶対やめへん」と歯をくいしばって頑張ってきた栗岡さん。彼女は自分の力で確実に新しい道を切り開いていた、輝いていたのだと実感しました。そのことが悲しみをより深いものにさせました。

一般就労というのは決してきれいな事では進みません。障害を持つ一人の人間が職場という社会で受け入れられ、認められること、就労を通じて本当に人生を豊かなものにしていくこと、それは茨の道だと思います。でも、その道を歩むことの意味を栗岡さんは改めて教えてくれました。

(ずし)





栗岡和美さんの思い出

○ 紅茶を飲むのが大好きな人でした。けんかをしたこともあった。仲なおりもした。食べたものは洗うのはするから、洗濯した物を干してとグループホームで話してた。(福田直美)

○ Q「思い出ありすぎて何言うて良いか困る?」。水月:大きな声で「あー」と手を挙げる。Q「タオル替えてくれたり、バス待つときも一緒やったな」。水月:うつむき加減で手を挙げる。(水月伸弘)

○ お弁当一緒に作った。弁当作ってるとき、けんかしたときもあった。旅行一緒に行った。お風呂も一緒やった。(五十嵐千佳)

○ 栗岡さんと色んなことして、遊んで、月曜日と火曜日と泊まって、色々しゃべって、楽しかった。「わくわくを一緒にいこか」「プールいこか」「これからどうしようか」とか話した。(表孝子)

○ ショップとか元気でしてはったのに... 急に亡くならはったからびっくりした。もうちょっと一緒にいたかった。(岡本智)

○ 何でなくなったのかがっかり。涙出る。楽しくパンジーで話したり、いろんなことしてたのに。胸がいっぱい。何もいえない...。空の上で頑張ってくださいと応援したい。(青山正)

○ 亡くなって辛かった。(田辺剛)

○ くりさんとは、付き合いが長いねん。パン屋さんのころから、一緒に働いてた。くりさんはよく働いていたし、よく気のきく人だった。くりさんがパンジーⅡ行ってはなれたけど、時々話したときは面白かった。(梅原義教)

○ パンをパンジーⅡに持っていった時によく会った。寂しかった。一緒にパンを丸めたかった。

(平川智彦)

○ 去年の東大阪の対市交渉のとき、マイクを使っていろいろ要求していた栗さんを覚えてます。一生懸命話しているなあとおもった。(宮田隆)



一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円



○ 天国に花をもって行ってあげたい。(西田隆行)

○ くりさんは、ほかのメンバーと大きな声でケンカしていたのをおぼえている。パンジーでよく働いていた。途中で仕事に行ったから、「また発作おこさんやろか?」「うまいこといつてんのかな?」ってずっと心配してたんや。外の仕事は、パンジーの仕事と違うからなあ。しんどかったんちゃうやろか?
(生田進)

○ 栗さんとは弁当をよくやったなあ。よく気がついて、がんばってた。(肌勢俊一)

○ ショップではいっぱい仕事がんばってたのに...さみしいなあ。
(溝端哲朗)

○ 何で亡くなったんだろう。Ⅱでは一緒にゆっくりしてたのに。さみしいです。(平石満彦)

○ かわいそうやなとおもった。(湯浅美和)

○ 「てくてく」でお世話になって、まさか亡くなるとは思わなかった。パンジーまつりで見たのが最後だった。かわいそうでした。天国でも元気でいて下さい。(小松原剛)

○ パンジーに来て 新しい友だちができました。その子の名前は栗岡和美さんです。最初、会ったときは、おとなしい子やな と思いました。だんだん なれてきたころから たくさんしゃべりました。でも、ほっさを もっているなんて信じなかったです。ふつうの子と かわらなかつたです。やさしい女の子でした。いつも 栗さん、栗さんと呼んでた。その栗岡和美さんはもういません。さよなら、栗さん。また どこかで会いましょう。(中山千秋)

○ 栗岡さんと、いっぺんタクシーにのって食事をしたことが思い出に残っている。栗岡さんは、甘えんぼさんのところがあって、ちょっとおこつたらきつくて。ちょっとがんこだった。ちょっとさみしい。
(西尾健一)



クリスマスパーティで、
仮装をして楽しむ
おちゃめな栗岡さん。

わくわくのページ

2002年度 第1回ガイドヘルパー研修会報告

6月1日(土) 18:00~20:00、パンジーⅡにおいて、今年度の第一回ガイドヘルパー研修会を行いました。毎年、この時期になると、新人のガイドヘルパーが増えるため、基本的な研修を行っています。内容としては、

1. 車いすの介助方法のビデオをみる
2. 食事介護をされる体験をする
3. グループ討論

介護される体験の感想

ガイドヘルパーの役割とは

の3つ。

ほぼ、毎年やっている内容なので、ベテランのガイドヘルパーにはおなじみになっています。

食事介護体験は2人1組でラーメンを使い介護しあいます。食べさせられる側の人は声を出さないというシチュエーションにて行いました。狙いとしては、介護される人の気持ちが少しでもわかれば、次回からの活動に役立てることができるのではないかなというところです。

3番のグループ討論は、新人のヘルパーから、「ベテランさんの意見は深くカンシンしました」という感想がでました。かつて、講師の話を聞くだけでなく、もっとヘルパー同士で話をしてみたいという研修会への要望があり、それにこたえた形で討論は始まったのですが、なかなか良い方向に向かっているのかなと感じます。

ガイドヘルパーの役割についての討論も、すでに何度か行っています。経験の量、状況、人の性格によって意見は毎年違ってきます。ガイドヘルパーの役割とはこうなんだと決めつけてしまわずに、いろんな人(ベテランヘルパー、新人ヘルパー、作業所職員、講師、保護者、本人などなど)の意見を取り入れて今後につなげていければいいのかなと思います。堅い頭では先に進めなくなることもあると思います。年々、感覚が変わっていてもいいのではないのでしょうか。

(よしたけ)

あつおさんの
今月の一言!



☆阪急電車で障害者でもないのに、障害者割引キップを使うのはやめましょう。必死に権利を勝ちとってきた人への冒涇です。現在、阪急では面倒な手帳提示が必要ありません。今後こころない一部の人のおかげで手帳提示が必要になるかもしれません。



新しくグループホーム「たんぽぽ」が できました！

今年のグループホームの新しい体制は4月30日から始まりました。今年からはじめて入居した人もいますが、グループホーム「たんぽぽ」には、東鴻池の「てくてく」にいた表さん、福田さん、岩田さん、栗岡さんが引っ越ししてきました。引っ越し当日、慣れないところで不安もあって、少し落ち着きのないうる表さんとそれにくらべ引っ越し慣れ(??)の



せいか、堂々としている福田さんの様子が印象的でした。吉田島之内の府営住宅は3角屋根のおしゃれな外観なのですが、階段もデザインの一部になっていてエレベーターや階段を間違えると「たんぽぽ」にたどりつくのはたいへんです。(遊びに来てくれる人はくれぐれもきをつけて!)引っ越しから早2ヶ月がたち、その間にメンバーの1人栗岡さんを亡くすことになり、淋しい思いを抱えていたときもありましたが、今は新しい生活にも慣れてきて、食事作りの自由メニューの日も決めました。ひとりひとりの夢や目標を実現していくための基盤となるような、あたたかくて落ち着いた生活づくりをしたいと思っています。(みつえ)

バンジーⅡ授産

わいわいと、そしてゆっくりと

4月に新しいメンバー2人が加わり、6月にはY君も授産のメンバーに仲間入り。おべんとうの盛りつけも楽しくにぎやかで、皆がんばっているようです。ベテランの先輩たちも、新しく加わったMさん、Tくんたちも、弁当作りのリーダーをするようになってきました。

軽作業は、以前のハンガーは終了し、新しくタオルハンガーの組み立てになり、毎日、机の上はタオルハンガーで山積みになっています。

午後からは天気の良いときに近くの公園や、近所に散歩に行ったりしています。

皆、散歩が大好きで、日光浴をしたり話をしたりと、ゆっくりと過ごしています。

こんな感じでバンジーⅡの授産では、わいわいと、

そしてゆっくりと、みんなで協力し合っています。

(なかたに&かわもと)



「ザ☆ハート いそがしいけど がんばってます!!」

★ 5月に新聞ができた。「これよんだら元気新聞」第一号! ふれあいまつりやパンジーまつりとかで配った。ピープルファースト全国会議にもこれよんだら元気新聞を配った。ピープルファースト北海道のなかまたちも 持ってかえてくれた。

★ 北海道の入所施設で年金をとられ、給料がも

らえなかった松岡さんが来て、話をした。入所施設に入っていたころの話聞いて「かわいそうだなあ」「入所施設はいらんなあ」と思った。7月3日には、松岡さんが大阪に来て、「松岡さんと共にたたかう会IN 大阪」が 芦原橋であった。

6月1日、2日は 生田さんと 中山千秋と 支援者なしで 熊本へ

★ 今年のピープルファースト大会の会場を見に行った。往復の飛行機は大変だったけど、行ってよかったと思う。

★ 6月は東大阪市長選挙があるので 「当事者でも選挙に行こう!」という集会をすることにした。集会のピラをつくって そのピラを配ったりした。あっちこっち行ったりした。「選挙には行ってます」という作業所もあれば、「行っていない」という作業所もあった。東大阪 中の作業所をまわっていると、昔の友達と会ったり、昔働いていたところだったりして「東大阪はせまいなあ」と思った。

これよんだら 元気新聞!

- 知的障害をもつ わたしたちが、
ニュースを つたえます。
 - 障害をもつ人たちに、役にたつニュース、
楽しいニュースを つたえます。
 - 障害をもたない人たちに、わたしたちのことを
してもらいます
- | もくじ | |
|--------------------|-----|
| わたしたちのこと(なかやまあき) | 2・3 |
| ガイドヘルパー(みやたかし) | 4・5 |
| ピープルファースト(いくたすすむ) | 6・7 |
| じけん(はだせとしかず) | 8・9 |
| えいが(やまだひろし) | 10 |
| けいば(うめはらよしり) | 11 |
| じょうほうコーナー(にしおけんいち) | 12 |
| しょうせつ(なかやまあき) | 13 |

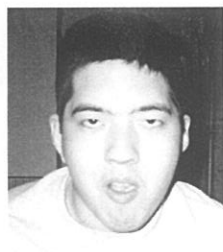
一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円

新人紹介



山崎 勲 さん

6月からパンジーⅡに通っている山崎さん、ハンガーをバリバリやっています。

少しずつパンジーにも慣れてきていて、好きな歌や知っている曲が流れると手をたたきながら踊っています。曲が終わるとまたバリバリ仕事をしています。

仕事をしながら、歌を歌うこともあります。

これからもぼちぼちと、頑張っていってください。

(みたて)

鹿島隆次

5月から厨房に新しく入りました鹿島隆次です。出身は京都府の舞鶴市です。好きなことは料理以外では車でドライブすることです(車は持ってないですけど)。パンジーに来る前は保育所の給食の調理をしていました。パンジーで今やっている事は、配食のお弁当の調理とメンバーと職員のお昼ご飯を作っています。不慣れなため色々大変な事がありますが毎日頑張っています。調理をしていて一番嬉しいことといえば、「今日のごはんおいしかったよ」と言ってもらえることです。これからも喜んで食べてくれるようなおいしい料理を作れるよう頑張っていきたいです。よろしくお願いします。



パンジー目安箱



この4月から、パンジーとパンジーⅡにそれぞれ置かれることになりました。

パンジーは始めてなので、ドキドキしています。この前、当事者から初めて苦情の手紙をもらいました。職員や介護者の手違いで、送迎車に乗れず、待ちぼうけをくらったという苦情です。職員や介護者だけで打ち合わせをするな、予定を変える時は自分で言う! と書かれていました。職員・介護者の皆さん、よく考えて変えていきましょう。

これから、ますます活躍したいので、どうかよろしくお願いします。



仕事として「支援」に関わる人のエンパワメント講座…パンジー勉強会報告その2

「組織」について

講師：上田晴男

(レポーター：よしだ)

勉強会3回目は『パンジーだより』が2ヶ月に1回なので2回目の報告はパス「組織」について考えた。事前に配られたアンケートの集計を見ながら上田さんが話をした。

「「組織」の一員だということをどんなときに意識するのか？」という質問では、一番多かったのが「みんなで一つの方向で仕事をしているとき」。次が「人から法人や施設の職員としてみられるとき」。一般的に知的障害者の施設では組織を意識する機会が少ないそうだ。名刺を持っている職員が少ないことにも現れていて、パンジーだと持っている人は半分くらいだ。一般の企業だと(どちらがいいかは別にして)、ほぼ全員が名刺を持ち、外に出ると「〇〇会社の××」とはっきり出している。

「所属している法人・施設は組織として機能しているか？」という質問では、機能している、部分的に機能しているという人が多数で、1名のみ機能してないと答えていた。機能してない部分については「建前と実体があわない」「連絡がうまくいかない」という答えだった。

さて、ここで疑問がわく。なぜ「組織」について考えることが必要なのだろう？

上田さんは、パンジーの職員は「自分たちの仕事は社会的な仕事だという認知が低い」とズバリ言う。「パンジーで働く以上は、組織的一員。例えばホームヘルパーは個人で出て行くが、その評価は派遣した元の評価でもある。みんながいろいろやっても組織の許容範囲内で動いている。反対に日常的生活は個人を中心に回っている。全体像を離れて見ると、そのモノがよくわかる。自分を置いている空間(組織)によって、モノの見方は変わる。組織体として、どの範囲の中で自分がいるかを考えないといけない」。

そして、組織として考えたとき、関係性と社会性ということが見えてくるという。「関係性とは、その人のキャラクターで、その人のあり方にかかっている。もう一つがシステム化。職員が入れ替わってもできるシステム化が必要。関係性と違い、上手下手はあっても一定の基準は満たしている状態だ。ファーストフードがその典型」。関係性とシステム化のバランスが、障害者の施設では特に大切だと思った。

さて、おもしろいエピソードを一つ。蟻か蜂の世界では、6:3:1の割合で「よく働く:普通:働かない」蟻(蜂)がいるそうだ。1をのけたらみんなが働くようになるかという、残りの9のうちから「働かない」1の蟻(蜂)が出てくるそうだ。

上田さんは「よい悪いではなく、1を含めて機能することが大事。1を含めた連携体制を作っていないといけない。それは人それぞれ。あらかじめ1という問題があると考えないと、できるだけリスクの少ない連絡方法を考えていける」と言う。社会全体のしくみもそうなのかもしれない。私は6:3:1のどの位置にいるかな、と気になった。



「松岡さんと ともに たたかおう会 IN おおさか」

「札幌育成園をゆるさないぞ！」

北海道の入所施設に入っていた、みんなの仲間の松岡敏雄さんは、年金を一円も受け取れませんでした。

年金は全部、施設にとられたのです。施設は年金ドロボウです。警察に話しても、役所に話しても、施設は「寄付してもらった」といって、お金を返してくれません。それだけじゃないんです。

6年間も休まず働いたのに、給料は一円ももらえませんでした。年金は施設にぬすまれ、働いても給料をもらえなかったら、どうやって地域に帰ることができるのでしょうか。

人生、一生死ぬまで施設にいろというのでしょうか。そんなの誰だっていやです。

入所施設は自由がなくて人間あつかいしてくれません。だから、入所施設はいやだって、松岡さんも、みんなもそうっています。

＜D0ネット 北海道ふくし人権ネット より＞

7月3日（水）に、大阪芦原橋で、松岡さんが来られて集会をしました。

松岡さんの事件を知るための、劇「たいようは しずまない」を上演したあと、松岡さんから話がありました。参加者はだいたい30名～40名くらいでした。

パンジーと「ザ☆ハート」のメンバーも参加しました。感想を一部紹介します。

★松岡さんの話をきいて たくさんのしせつでいたころの話をききました。理事長にはたらいでも お金をたくさんもらえなかった とかあったし やさいの のうかのしごととか して いて 給りょうは ぜんぜんもらえて なかったです。 (肌勢)

★かんぱ ようけ入ってないけど もうちょっと 入ってたら よかったな。劇は人形でやったら よかったな そのほうがおもしろいな。わし ちょっと きんちょうしてもうたからよ。がんばってください。ピープルファースト熊本大会で会おう。また大阪にきたら あおう。 (生田)

★まつおかさんは 6年間 くろうしたんだな と思いました。
わたしも 小学校じだい まつおかさんと よくにたことがありましたからね。いつか まつおかさんに しあわせがくるでしょう。まず 体力つけて がんばってくださいネ さいばん！！
全国のしょうがい者たちが おうえん！してます！！ (中山)

書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます

＜後援会費を振り込んでいただいた方＞(敬称を略させていただきます)

＜カンパ・寄付をいただいた方＞

藤原一 水谷

＜書き損じハガキ・未使用切手・未使用テレホンカードをお送りいただいた方＞

武田直子 竹内進 西田美智子 田村崇

VIDEO 当事者主体と 自己決定をさぐる

グルンデン協会の人たちの活動と暮らしを訪ねて



企画・制作:スウェーデンスタディツアー実行委員会

販売:はっしんきち「ザ☆ハート」

東大阪市荒本2049-4 23-101

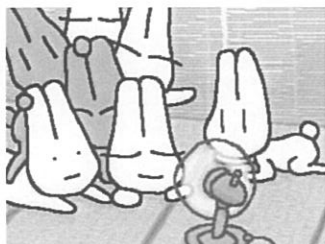
TEL 06-6789-6637 FAX 06-6789-6649

上映権付価格:12,000円 個人価格:3,000円

2002年制作 カラー120分

2001年8月10日、知的障害をもつ人たち4名と、支援者13名がスウェーデンに旅発った。出迎えてくれたのは、スウェーデンのグルンデン協会の理事長をしているハンスと理事のアンナ、そして支援者のアンデシュ。案内人は河東田博さん(立教大学教員)。

スウェーデンへの旅は、日本の知的障害者が自分らしく生きていくために必要なことは何か、必要な支援は何か、社会をどう変えていけるのかを示唆していた・。



パンジーでは、
後援会員を募集
しています

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	
クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市東中浜2-10-13
緑橋グリーンハイツ1階

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円